はじめてのOpenAI API

取得・設定ガイド

Super FURU AI 4-koma Systemへ接続するための、OpenAI APIキー取得・設定ガイドです。アカウント、課金、必要な認証、Projectとキーの権限、安全な管理、接続確認を説明します。作品制作の操作は全機能マニュアルで説明します。

ChatGPTは無料プランのままで大丈夫
OpenAIのアカウントは必要です。ChatGPT Plus / Proの契約は不要です。**APIの支払い設定と従量課金は、ChatGPTのサブスクとは別**です。

あなたは、どこから始める？

いまの状態	スタート位置
ChatGPTのアカウントもない	① アカウント作成 → 3ページ
ChatGPTは使っているがAPIは初めて	② Platformの初回設定 → 4ページ
使うProjectを確認済み	④ Billingを開く → 6ページ
入金済み。画像モデルの認証が不明	⑧ 本人確認の要否 → 10ページ
必要な認証・権限・入金済み	⑩ 電話確認 → 13ページ、⑪ キー作成 → 14ページ
使えるキーをすでに持っている	⑫ アプリへの接続 → 16ページ

順序：①登録 → ②初回設定 → ③Project確認 → ④Billing → ⑤カード → ⑥クレジット → ⑦利用上限 → ⑧本人確認の要否 → ⑨モデル権限 → ⑩電話確認 → ⑪キー → ⑫接続確認。

番号は操作手順、ページ番号は紙面の位置です。途中の確認が先に表示された場合は該当手順を済ませて戻ります。

最初に知っておくこと

説明図（操作の順序を示したものです）

OpenAIアカウント
ログインするための共通アカウント。ChatGPTとAPI Platformで使います。

↓

Organization → Project
OrganizationはAPIの請求・権限を管理する単位。Projectはアプリごとの利用を分ける入れ物です。個人でも使います。

↓

APIキー → このアプリ
APIキーはアプリからOpenAIへ依頼するときの秘密の鍵。Astra専用キーや画像専用キーを別々に買う仕組みではありません。

準備するもの	使うところ
使えるメール／ログイン方法	①登録・②ログイン。確認メールを受信できること。
SMSを受信できる携帯電話	⑩初回APIキーの電話番号確認。
支払い用カード	⑤カード登録・⑥クレジット購入。
本人確認書類と撮影できる端末	⑧必要な場合。期限内の原本を用意します。

写真と説明図の区別：「実画面」は2026年9月30日のOpenAI画面と10月3日のアプリ画面から、必要部分を掲載しています。個人名・組織ID・キー一覧・残高・カード末尾などは掲載していません。「説明図」は手順を整理した図で、実画面の写真ではありません。

初回登録や本人確認に必要な項目は、アカウントや組織の設定によって異なります。

アカウントを持っていない人だけ / ある人は4ページへ

① アカウントを作る

ChatGPTを開く
https://chatgpt.com/

1. 「Sign up／無料でサインアップ」を選ぶ
ログイン済みのチャット画面が開けば、アカウントはあります。新しく増やさず、4ページへ進みます。

2. 登録方法を選ぶ
画面にあるGoogle・Microsoft・Appleなどの方法、またはメールアドレスで登録します。使い続けられるアカウントを選びます。

3. 画面の案内に従って登録を完了する
メール方式では、自分のメールアドレスを入力します。パスワードやメール確認コードを求められたら画面に従います。名前・生年月日等の必須項目には正しい情報を入力し、利用条件を確認します。

4. 登録した方法を覚えておく
たとえば「Googleで続行」で作った人は、Platformでも同じGoogleアカウントで続行します。登録方法の取り違えは、別アカウントやログインエラーの原因になります。

説明図（操作の順序を示したものです）

初めての人
ChatGPT → Sign up → 登録方法を選択 → 確認 → アカウント完成

↓

すでに使っている人
新規登録は不要 → 同じアカウントでOpenAI Platformへ

ここで有料サブスクに入る必要はありません
APIだけを使うためにPlus／Proを契約する必要はありません。プランの案内が出ても、無料での利用を選べる場合はそのまま進めます。

アカウントはPlatform側のSign upから直接作成できます。

ChatGPTアカウントがある人はここから

② Platformの初回設定をする

APIの管理サイトを開く
https://platform.openai.com/

1. 「Log in」で同じアカウントに入る
①で使った方法と同じメール／Google／Microsoft／Appleアカウントを使います。ChatGPTの画面とAPI Platformの画面は別のサイトです。

2. 初回のAPI利用設定が出たら、先に完了する
組織名・利用目的・地域・規約などが表示された場合は、現在の画面の必須項目を埋めます。個人利用なのに架空の会社情報を入力しないでください。

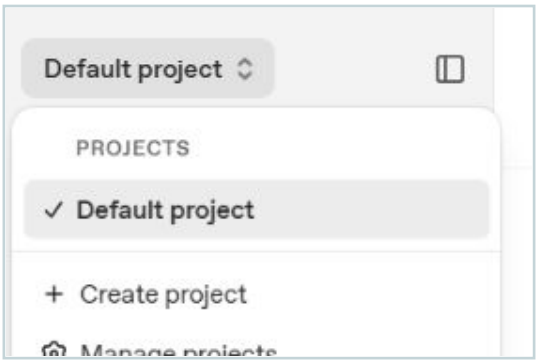
3. 組織の設定ができたらProjectを確認する
通常のダッシュボードとプロジェクト選択が表示されたら③へ進みます。初回画面で先にキー作成・支払い・電話確認を求められたら、対応する番号を参照します。

初回画面に出た項目	何を入れるか／選ぶか
Organization name／組織名	個人用の管理名。説明例：Personal manga。これは入力例であり必須の名前ではありません。
利用目的／用途	個人の漫画・イラスト制作など、自分の実際の用途。選択式なら最も近い項目。
国・地域、住所など	自分の正しい情報。後の請求・本人確認とも矛盾しないようにします。
招待、会社情報など	個人で使い、任意・スキップ可能な項目なら省略できます。必須欄は画面の案内に従います。

自分でProjectを作ったことがなくても大丈夫
公式では、各組織にDefault projectが用意されます。まず初回設定を済ませ、③で使うProjectを確認します。追加のProject作成は必須ではありません。

③ 使用するProjectを確認する

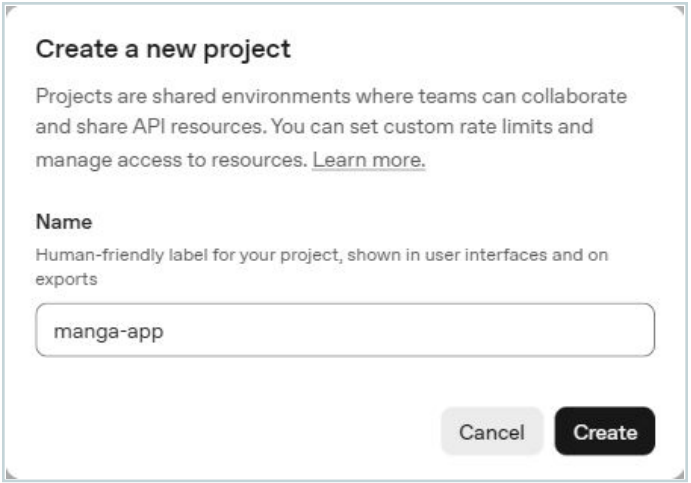
各組織には**Default project**があります。これを選べば追加作成せず④へ進めます。**新旧モデルの違いで、新しいProjectの作成が必須になるわけではありません。**利用を分けたい人だけ、以下の例で漫画専用の**manga-app**を作ります。



実画面：左上のプロジェクト名を押すと「Create project」が現れます。

1. 左上のプロジェクト名 →「Create project」
組織側の「Projects」から管理することもできます。

2. Nameに「manga-app」と入力 →「Create」
好きな管理名で構いません。



実画面：Project名の入力例。

次へ進む前に
左上で目的のProjectが選ばれているか確認します。Create projectがない・作れない場合は、その組織のOwner権限や参加状態を確認します。

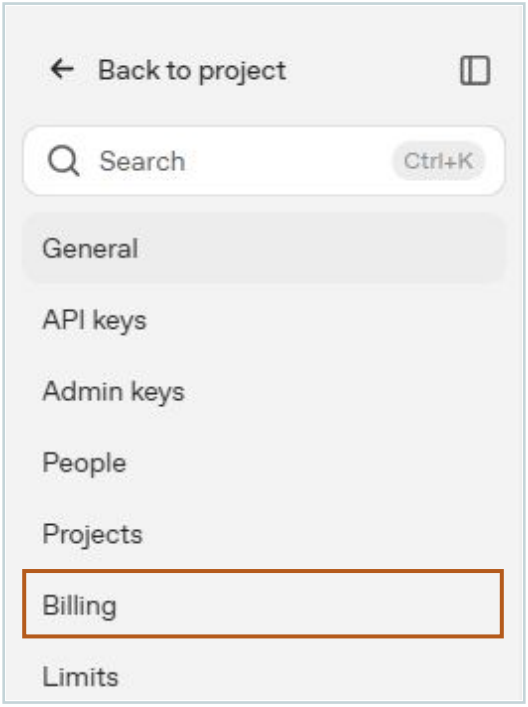
④ Billingは組織設定の中にある

最短：この直リンクを開く
下記リンクは、ログイン中のAPI組織の支払い概要を開きます。組織が複数ある人は、目的の組織になっているかも確認します。

APIの支払い概要
https://platform.openai.com/settings/organization/billing/overview

通常画面から進む順序

1. 左メニューの **Settings** を押す。
2. Project Settings画面の右上にある **Organization settings** を押す。
3. 組織設定の左メニューに出る **Billing** を押す。



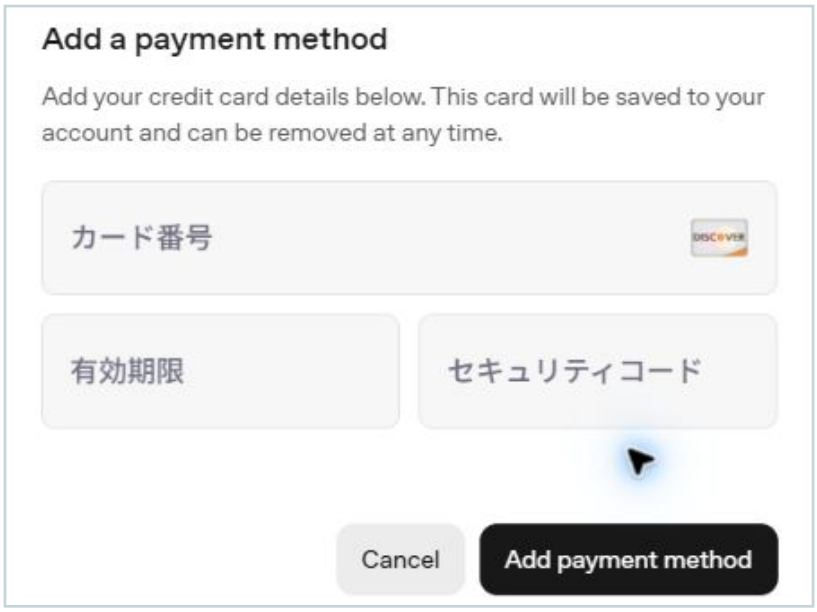
実画面：組織設定の左メニュー上部を拡大。枠で示したBillingを押します。

「Settings」を押しただけではProject Settingsです。そこからもう一段、Organization settingsへ進むことがポイントです。

Billingを開けないとき
ログイン先のアカウント・組織を確認してください。請求の管理権限がないメンバーは、組織のOwnerに依頼します。Projectの管理権限だけで請求まで操作できるとは限りません。

⑤ API用のカードを登録する

初めてのAPI支払い設定では、Billing内の**Add payment details**から進みます。設定済みのアカウントでは**Payment methods → Add payment method**などの表示になります。



実画面：「Add a payment method」の入力画面。

欄の名前	入力する内容
カード番号	自分の支払いカードに記載された番号。サンプル番号を入れないでください。
有効期限／MM・YY	カードにある「月／年」。APIキーの有効期限とは別です。
セキュリティコード／CVC	カードの案内に従う3桁または4桁の番号。暗証番号ではありません。
名義・請求先住所などが出た場合	カード会社へ届けている正しい名義・住所・国・郵便番号を入力します。表示されない欄を探す必要はありません。

入力内容を確認し、画面の登録・次へ進むボタンを押します。カード会社の追加認証（3Dセキュア等）が出たら、カード会社の案内に従います。カードを登録しただけでは、クレジット購入が完了していない場合があります。

カード番号・CVC・住所を、アプリのAPIキー欄へ入力しないでください。

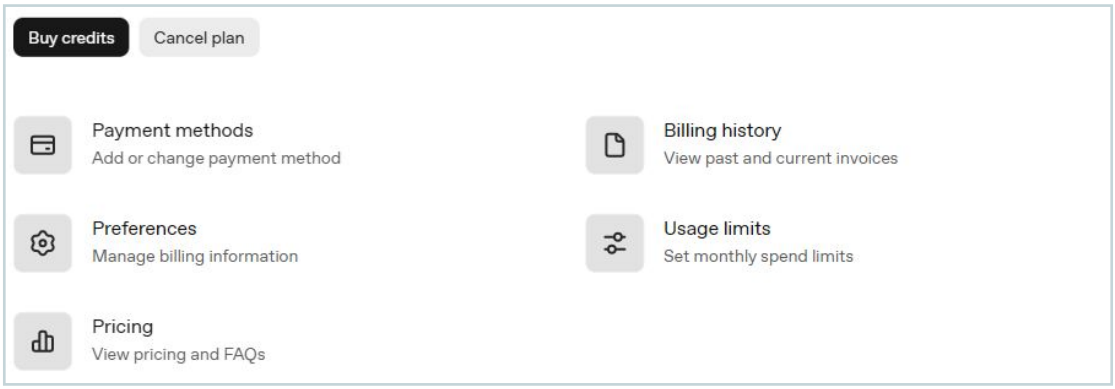
⑥ 最初のクレジットを購入する

迷ったときの例	考え方
まずは5米ドル	公式の最小購入額。少額から始め、実際の消費を見て追加します。
少し余裕を持つなら10米ドル	公式の初期表示額。10ドルが必須という意味ではありません。
何枚作れる？	モデル・入力画像・品質・サイズ・検査・再生成で変わります。5ドルや10ドルでの保証枚数はありません。

1. 初回の購入額を確認する
Amount／Initial credit balanceなどの金額欄に、購入したい米ドル額を入れます。円換算額は為替・カード会社・税等で変わります。

2. 「Use auto-reload」を必ず確認する
公式案内では初回設定時にONが既定です。**初めてで自動追加購入を望まない場合はOFF**にします。画面名がAuto recharge等の場合も同じ意味です。

3. 注文の最終金額を確認して購入する
クレジット額、税などを含む請求額、支払い方法、自動チャージの状態を確認して確定します。購入後は数分待って残高表示を確認します。



実画面：設定済みアカウントの購入入口は「Buy credits」です。

購入前に知っておくこと
購入クレジットの有効期限は1年です。返金は原則不可（法令・契約・承認された例外を除く）。残高切れの停止には遅延があり、前払い額をわずかに超える利用が生じる場合があります。

⑦ 自動チャージと上限を分けて考える

設定	何を制御するか
Auto-reload／Auto recharge	残高が減ったときにカードから追加購入するか。初回はOFFを提案。
Monthly reload limit	自動購入する金額の月上限。手動購入や既存残高の消費上限ではありません。
Spend alert／利用額アラート	指定した利用額を知らせるだけ。これだけではAPIは止まりません。
Enforce a hard limit	設定した月額に達した後、対象のAPI呼び出しをエラーにする設定。反映遅延による小さな超過はあり得ます。

組織の利用上限

https://platform.openai.com/settings/organization/limits

1. まず自動チャージをOFFにしたか確認

Billing → Overview → Manage auto-reloadで状態を確認します。継続利用のためONにする場合は、残高の発動条件・補充後残高・月の購入上限を理解してから設定します。

2. 月額上限を設定したい場合

Organization limitsのSpend → Edit spend limit（未設定ならSet spend limit等）へ進みます。Monthly spend limitに自分の許容額を入力します。例：初月5米ドル。

3. 止めたい場合は「Enforce a hard limit」をON → Save

表示が異なる場合は、上限の数字だけで「自動停止する」と判断しないでください。

Project側にも上限があります

Project Settings → Limits → Spendにも設定できます。組織上限は全Project、Project上限はそのProjectの利用に適用されます。残高があっても別の上限で止まることがあります。

このページは現行公式説明に基づく設定図解です。実際の個人の上限額や利用履歴は掲載していません。

⑧ 本人確認の要否を確認する

公式は、GPT Image利用前に認証が**必要になる場合がある**と案内しています。全アカウントで必須とは限りません。認証済み、または要求されず利用可能なら⑨へ進みます。

組織の一般設定
https://platform.openai.com/settings/organization/general

説明図（操作の順序を示したものです）

General → Verifications
API組織の一般設定を開きます。認証状態はVerificationsで確認できます。

↓

認証を要求された個人利用者
現行アプリの案内は「Verifications → Individual → Start」。公式の要求・エラーのリンクから開始する場合もあります。

↓

公式の認証先で手続きする
身分証・顔写真はPlatformから開始した認証先に提出します。アプリの案内ではPersonaを使うフローです。

表示状態	次の行動
未認証＋認証を要求された	11ページの準備をして開始します。
確認中・審査中	画面の案内に従って待ちます。完了時間は保証できません。
Verified／要求なしで利用可	同じ組織か確認して⑨へ進みます。
入口がない／権限がない	認証を要求された場合は組織・Owner権限を確認し、要求元のリンクへ戻ります。

個人でも利用できます。Organizationは管理単位の名前です。法人確認を求められた場合は公式案内に従い、架空の会社を登録しないでください。

本人確認に必要な項目は、表示される認証画面の案内に従ってください。

⑧ 本人確認：書類・撮影・承認後

始める前の準備

期限内で、政府発行の**原本**を用意します。公式例にはパスポート、運転免許証、国の身分証、在留許可証などがあります。**実際に選べる書類は認証画面の国・種類の選択肢を優先**してください。国ごとの全書類の対応はこの資料では断定しません。

氏名・生年月日・顔写真が明瞭に確認できる状態にします。コピー、スキャン、スクリーンショット、期限切れ、加工した画像は使いません。必要な書類面を全部撮れるようにしてください。

1. 国・書類の種類を選ぶ
書類が発行された国と、手元の書類に対応する種類を選択します。画面が請求先国を聞いている場合と混同しないでください。

2. スマホでの操作に切り替える場合
PCにQRコードやスマホへ送るリンクが表示された場合のみ、その案内を使います。現在の公式フローから進んだ画面であることを確認します。

3. カメラを許可し、枠に合わせて原本を撮る
明るい場所で、反射・ぼけ・指による隠れを避けます。表裏を求められたら両方撮ります。撮り直しが必要なら提出前にやり直します。

4. 顔の撮影を求められたら画面の動作指示に従う
自撮り等が必要な場合があります。必要な撮影方法はその認証画面を優先します。

5. 提出後、Platformへ戻って状態を確認する
同じアカウント・同じ組織のVerificationsを見ます。審査中なら待機し、追加情報が求められたらその案内に従います。

認証済みなのに使えないとき
承認の反映に時間がかかる場合があります。同じ組織・Projectのキーか、モデル権限と残高があるかを次ページで確認します。**認証済みという表示だけで、すべてのモデル利用が保証されるわけではありません。**

公式では、個人の本人確認で確認できるアカウント／組織は1つとされています。別アカウントを次々作って認証を繰り返さないでください。書類や自撮り、QRコードを解説者・SNS・漫画アプリへ送る必要はありません。

⑨ モデルの利用権限を確認する

1. 漫画用Projectを選び「Settings → Limits」
まず左上で③のProjectを選択します。組織全体のLimitsとは別の、Project SettingsのLimitsを開きます。

2. 「Model usage」の「Allow or block models」へ
その説明に対応する**Select models**を押します。同じページにRate limits用のSelect modelsもあるので、取り違えないでください。

3. 対象モデルが禁止されていないか確認する
設定の選択肢は下表の3つです。すでに許可されているなら変更不要です。会社・共有組織の制限は管理者へ依頼します。

モデルの許可設定	意味
Allow all models	現在と将来のモデルをProject側で許可。OpenAI側の制限を解除する操作ではありません。
Allow all except selected models	選択したモデルだけ禁止。Astraや画像モデルが禁止リストにないか確認。
Allow only selected models	選択したモデルだけ許可。画像モデルだけ許可しても解析・シナリオ処理は動きません。

最低限、どの名前を探す？
本アプリの標準の文章・画像解析用モデルは**gpt-6-luna**です。GPT-6.2を選ぶ場合は**gpt-6.2-sol**または**gpt-6.2-astra**を許可します。旧モデルを選ぶ場合も、そのモデル名の許可を確認します。画像生成にはまず**gpt-image-2.6-sunburst**を確認します。別の画像モデルを選ぶ場合は、そのモデルも許可します。

許可範囲を絞る場合：選択したシナリオモデル、解析・検査モデル、画像モデルを確認します。アプリのModel Chainで失敗時の代替モデルも確認し、必要な範囲を管理者と相談してください。画像は2.6または明示選択した2.5が対象です。終了予定の2.0は使用しません。

許可設定を変更する場合はSaveで保存し、反映を待ちます。AllowedはProject内の設定です。OpenAI側の制限を解除する購入ボタンではありません。キー権限、残高、要求された認証の完了も確認します。

⑩ 初回APIキーの電話確認

APIキー作成ページ
https://platform.openai.com/api-keys

公式ヘルプでは、**最初のAPIキーを作る際に電話番号確認が必要**です。2本目以降のキー作成では通常、同じ初回確認を繰り返しません。ChatGPTの新規登録自体の電話確認とは区別してください。

説明図（操作の順序を示したものです）

国番号を確認
日本の携帯番号を使う場合はJapan／+81を選びます。米国の+1のまま入力しないでください。

↓

自分の携帯番号を入力
画面の書式に従います。+81が別欄なら先頭0を除く国際形式が一般的です。表示される入力例やエラーを優先します。

↓

SMSの確認コードを入力
表示された送信方法でコードを受け取り、公式画面に入力します。地域によってWhatsAppが選べる場合があります。

困ったこと	確認すること
コードが来ない	国番号・番号・SMS受信可否を確認。短時間に何度も再送せず、画面の待機時間に従います。
メールで受け取りたい	公式案内では、この電話確認コードはメールや音声通話では受け取れません。
番号が対応していない	対応番号の条件を公式ヘルプで確認。進めない場合はエラー文を添えて公式サポートへ。

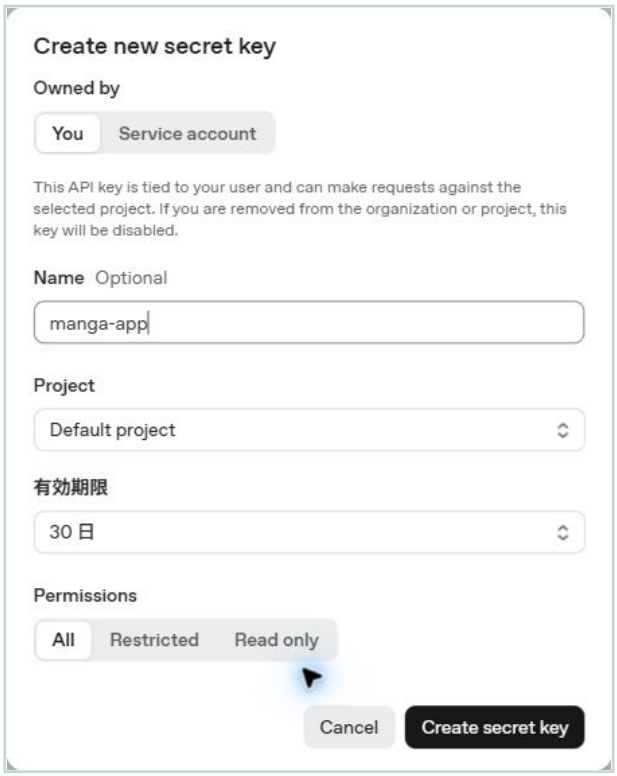
コードを他人へ教えないでください
電話番号、SMSコード、本人確認リンクは、必要な公式画面にだけ入力します。漫画アプリのAPIキー欄へSMSコードを貼らないでください。

公式の初回APIキー案内に基づく説明図です。

根拠: H（出典一覧は19ページ）

⑪ APIキーを新しく作る

API keysページで**Create new secret key**を押します。次の画面の項目を確認してください。作るのはProjectの通常のAPIキーです。**Admin keysではありません。**



実画面：Nameと有効期限の設定例。

項目	この手順での入力・選択
Owned by	**You**。個人で使う通常のキーです。Service accountはチームのシステム運用向け。
Name（Optional）	例：**manga-app**。識別用の名前。名前をAstraにしてもモデル権限は増えません。
Project	③で選んだ**Default project**、または追加した**manga-app**。写真はDefault projectです。
有効期限	例：**30日**。1日・7日・30日・期限なし・カスタムなどから選択します。30日は説明用の提案です。
Permissions	初回の簡単な設定例は**All**。そのProject内で広いAPI権限を持つため、自分専用に管理します。詳しくは次ページ。

⑪ キーの権限・コピー・保管

権限を理解してから作る

設定	このアプリでの意味
All	そのキーに全API権限を与える既定設定。簡単な初回設定例ですが、誰にでも渡してよいキーではありません。
Read only	読み取り用。文章や画像を生成する目的には足りません。
Restricted	必要なAPIだけ許可する設定。管理に慣れた人向け。Modelsの読み取り、Responses／Chat Completionsの生成、Imagesの生成・編集等が必要です。画面の資源別の権限に対応させます。

Project側でモデルを許可しても、キー側の権限が不足すれば使えません。逆にAllにしても、本人確認やOpenAI側の利用制限は解除されません。

1. 「Create secret key」を押す
選んだProject・期限・権限に誤りがないか確認します。ボタンが押せない場合は、有効期限を選んだか、必須項目や組織のキー作成制限を確認します。

2. 表示された秘密のキーをコピーする
作成直後の表示から、Copyボタンなどで全文をコピーします。キー一覧の「sk-...」という省略表示やTracking IDは使用できません。

3. 自分用のパスワード管理アプリ等で安全に保管する
あとで全文を再表示できない前提で扱います。SNS、メール、共有資料、スクリーンショットへ載せないでください。紛失したら新しいキーを作成します。

4. ⑫で漫画アプリへ貼り付ける
保存・入力できたことを確認してから作成画面を閉じます。利用期限が来たら新しいキーへ更新します。

漏れたキーは使い続けない
公開・共有してしまった場合は、API keysで該当キーを失効させ、新しく作り直してアプリへ接続し直します。失効前に他の自分のアプリでも使っていないか確認してください。

キーにはsk-で始まる形式があります。本資料には有効なキー、実際のキーの一部、キーIDは掲載していません。

⑫ 漫画アプリへキーを接続する

Super FURU AI 4-koma Systemを開く
https://furuyan1234.github.io/nano-banana-pro/

1. 最初のAPIキー入力欄を押す
AI Engineの「APIキー」欄に、⑪でコピーした**OpenAIの秘密キー全文**を貼り付けます。Windowsは Ctrl+Vです。

2. 「接続」を押す
入力の先頭でOpenAI形式と判定されます。「形式（未検証）」だけでは接続完了ではありません。接続確認が終わるまで待ちます。

3. 「ChatGPT Engine」などOpenAIの接続表示を確認
このアプリの表示名にChatGPTとあっても、ここではOpenAI APIを使用します。ChatGPTサブスク枠の消費ではありません。

> **接続成功＝画像モデルの利用成功、ではありません**
> 現行アプリの接続確認はモデル一覧へのアクセスを確認します。画像生成の利用可否は、モデル権限・要求された認証・残高などにも依存します。接続確認だけでは、有料の画像生成は行いません。

キーは現行アプリのブラウザーメモリーで保持されます。再読み込み・終了後は再入力が必要です。信頼できる配布先と自分の端末で使ってください。キーは認証のためOpenAIへ送信され、API処理では選んだ文章・画像も送信されます。

MCP制作でも、ローカルのアプリの同じ欄へ本人が入力します。キーをAIとのチャットやMCP設定へ貼り付けません。すでに作業中の場合、再読み込みや設定クリアの前に必要なデータを保存してください。制作と保存方法は全機能マニュアルを参照してください。

全機能マニュアル（接続後の操作）
https://furuyan1234.github.io/nano-banana-pro/downloads/super-furu-ai-4koma-full-manual-2026-10-01.pdf

止まったときの確認表

症状・表示	確認と次の操作
Billingが見つからない	6ページの直リンク、またはSettings → Organization settings → Billing。組織とOwner権限も確認。
クレジットが反映されない	同じ組織へ購入したか確認し、数分待つ。購入成功の表示がなければ、重複購入する前にBillingを確認。
401／invalid_api_key	秘密キーの全文・前後の空白・失効・有効期限を確認。省略キーやProject IDでは接続できません。
403／permission denied	Projectの許可モデル、キー権限、本人確認、組織やProjectの所属を確認。入金だけでは解決しません。
organization must be verified	10・11ページ。正しい組織の本人確認と承認の反映を確認。承認時間の保証はありません。
model_not_found／モデル利用不可	モデル名・利用権限を確認。GPT-6 Astraと画像モデルは別に確認。現在の契約・審査で使えない可能性もあります。
429／残高・月額上限のエラー	credit_balance_exhaustedは残高。project／organization_spend_limit_exceededは利用上限。レート制限とは別です。
429／rate limit	短時間の回数・トークン制限。表示された待機時間を守る。入金の繰り返しでは直らない場合があります。
接続はできたが画像が出ない	⑧⑨の権限・認証、選択モデルとエラー文を確認。「安全基準による拒否」と表示された場合は、表示された理由と入力内容を確認してください。
再読込後に未接続	このアプリのメモリー保持によるものです。保管したキーを再入力。制作途中の再読込は避けます。

解決しない場合は、操作番号・発生日時・モデル名・エラー文を控えて公式サポートへ。APIキー、本人確認書類、カード情報は公開しないでください。画面写真を共有するときは、個人情報を復元できない形で除きます。

文章・画像解析のChat Completionsで初回のHTTP応答前に通信が切れた場合は、同じモデルで1回だけ再試行します。接続確認や画像生成のエラーは、画面に表示された理由を確認してください。

OpenAI公式ヘルプ

https://help.openai.com/

迷ったら使う直リンク集

① ChatGPTの登録・ログイン入口
https://chatgpt.com/

② OpenAI Platform
https://platform.openai.com/

② Platformから直接新規登録する場合
https://platform.openai.com/signup

③ 組織のProject一覧
https://platform.openai.com/settings/organization/projects

④⑥ APIのBilling概要
https://platform.openai.com/settings/organization/billing/overview

④ 公式ヘルプが案内するBilling入口
https://platform.openai.com/account/billing

⑤ 支払い方法
https://platform.openai.com/settings/organization/billing/payment-methods

⑦ 組織の利用上限
https://platform.openai.com/settings/organization/limits

⑧ 本人確認のある組織設定
https://platform.openai.com/settings/organization/general

⑩⑪ APIキー作成・管理
https://platform.openai.com/api-keys

⑫ 漫画アプリ
https://furuyan1234.github.io/nano-banana-pro/

利用後のAPI使用状況
https://platform.openai.com/usage

リンク先はログイン状態・権限により初回設定へ戻る場合があります。正しい組織を選んでから進めてください。Project固有のURLに入るIDは人ごとに異なるため、この資料には書いていません。

公式出典・この資料の範囲

実画面はProject作成、組織側のBillingメニュー、Billingのタブと操作、カード追加の空欄、キー作成フォームを掲載しています。アプリへのキー入力と接続表示の確認までを扱います。初回専用の画面はアカウントの状態によって異なります。

新規登録・支払い・本人確認・キー発行の説明は公式情報に基づきます。ご自身のアカウントに表示された条件を確認して進めてください。各利用者での認証・利用可否を保証するものではありません。

A 共通アカウント https://help.openai.com/en/articles/7242619

B ChatGPTとAPIの別請求 https://help.openai.com/en/articles/9039756

C Project・権限の管理 https://help.openai.com/en/articles/9186755

D 前払い・自動チャージ https://help.openai.com/en/articles/8264644

E 利用額の通知と強制上限 https://developers.openai.com/api/docs/guides/spend-limits

F API Organization Verification https://help.openai.com/en/articles/10910291

G GPT Image生成と認証 https://developers.openai.com/api/docs/guides/image-generation

H 初回APIキーの電話確認 https://help.openai.com/en/articles/8983040

I Platformログイン https://help.openai.com/en/articles/6613629

J ChatGPTログイン https://help.openai.com/en/articles/7426629

K APIキーの権限 https://help.openai.com/en/articles/8867743

L GPT-6 Astra https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-6-astra

M GPT-6.2のモデル別料金 https://developers.openai.com/api/docs/pricing

M GPT Image 2.6 Sunburst https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-image-2.6-sunburst

入力例のmanga-app／Personal manga、初回5〜10米ドル、30日のキー期限は本資料の説明例・提案です。OpenAIの必須条件とは区別しています。